

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成22年4月14日

計画の名称	1 新小岩駅地区の交通結節機能向上及びバリアフリー化の推進		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	葛飾区
計画の目標			

新小岩駅地区は、葛飾区の南部に位置し、駅を中心に区内最大の繁華街を形成し、その周辺に住居系地域が広がっている。駅南側に駅前広場があるが、交通が集中し混雑が著しいため、駅東北側に新たな交通広場を整備している。駅周辺は、J R線（総武線）と補助第140号線（平和橋通り）によって大きく4つのエリアに分断されており、特に線路で分断された南北間の歩行者動線は、J R線と立体交差している平和橋通りのみであり、その歩道は駅改札から離れており掘割状で幅員も狭く、歩行者と自転車とが交錯するなど、歩行者にとって安全性と利便性に欠けている。駅の日乗降客数は約14万人であり、エスカレーターや車椅子用リフトは整備されているが、エレベーターが無く、十分なバリアフリー化がされていない状況である。

区では、平成13年に都市計画マスタープランを策定し、新小岩駅周辺を「魅力的で身近な広域生活拠点」と位置付け、広場や自由通路の整備、地元商店街の活性化など総合的な都市基盤、環境整備を進め、交通機能、商業・生活サービス機能の充実及び駅周辺の一体性・回遊性の向上を図るとしている。現在、補助第330号線（東北交通広場）、葛飾歩行者専用道第1号線を整備中であり、さらに今後、南北の駅前広場を往来できる南北自由通路を整備し、両広場の交通結節機能の向上とバリアフリー化を図っていく。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>新小岩駅圏を重点整備地区に位置付け、バリアフリー化を促進する。</li> <li>新小岩駅周辺の利便性向上を図り、駅周辺の来訪者の増加を図る。</li> </ul>		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考	
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)		
新小岩駅圏のバリアフリー化の進捗状況を調査する。	0 / 28項目	14 / 28項目	28 / 28項目		
新小岩駅の乗降客数を調査する。	144,000人／日	145,000人／日	146,000人／日		
全体事業費	合計 (A+B+C)	5,512百万円	A 5,236百万円 B 276百万円 C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	交通	一般	葛飾区	直接	葛飾区	新小岩駅地区都市交通システム整備事業	自由通路、延長L=90m、幅員W=10m	葛飾区						5,236	
合計													5,236		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-B-1	街路	一般	葛飾区	直接	葛飾区	都市計画道路補助第330号線	交通広場5,038㎡、延長L=412m、幅員W=19~25m	葛飾区						183	
1-B-2	街路	一般	葛飾区	直接	葛飾区	都市計画道路葛飾歩行者専用道第1号線	延長L=140m、幅員W=8m	葛飾区						93	
合計													276		

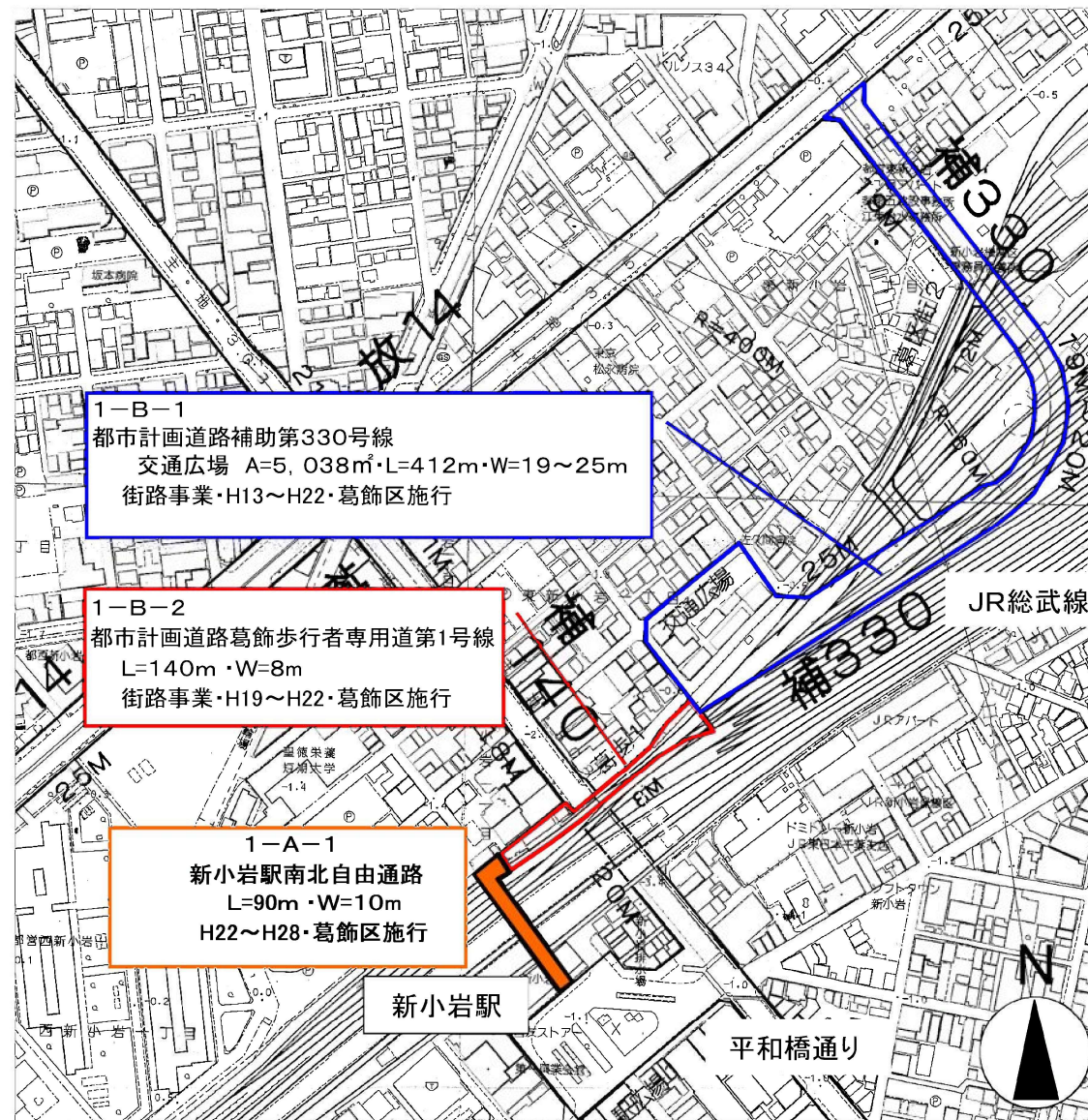
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-B-1	駅南口に集中する交通の分散を図るとともに地域交通の円滑化と防災性の向上を図る。														
1-B-2	東北交通広場と駅北口とを結ぶ歩行者専用道として、駅周辺の安全な移動と回遊性の向上を図る。														

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

計画の名称	1 新小岩駅地区の交通結節機能向上及びバリアフリー化の推進		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	葛飾区

【施設計画概要図】



## 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：新小岩駅地区の交通結節機能向上及びバリアフリー化の推進

都道府県名：葛飾

### チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市計画マスタープラン計画等との適合	
1) 計画の目標が都市計画マスタープランと適合している	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえて、地区の整備目標が設定されている	○
2) バリアフリー化の必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と定量的指標の整合性	
1) 目標と指標、数値目標の整合性が確保されている	○
2) 指標・数値目標が区民にとって分かりやすいものとなっている	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	
1) 十分な事業効果が確認されている	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い	○
2) 計画について住民等との間で合意が形成されている	○
⑥地元の機運	
1) 住民等と協力して計画を策定している	○
2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる	○